



○ 高校訪問

これまでに勤務した YIC グループの学校では、私自身が高等学校を訪問する機会はそう多くはありませんでしたが、本校に着任してからは努めてたくさん訪問しようとしています。それは本校の教職員が少数精鋭のためです（専門講師はプロの方々を三十数名お願いしています。これは自慢できます。）。

訪問の時期によって高校の雰囲気もなんとなく違いますね。年度当初、通常の授業日、定期考査の期間、学校行事が行われているとき、長期休業前などなどです。今はまさに夏休み前であり、クラスマッチが行われて賑やかだったり、保護者会で進路を決めようとする緊張感だったり、対外試合への意気込みだったり、直接目にはすることはあまりありませんが、それらの雰囲気は感じられます。高校野球の甲子園地区予選はすでに始まっており敗退してしまった学校もありますが、野球場のそばを通ったときなどにはその熱気が伝わってきます。

中学校3年生のほとんどのの人にとっての夏休みは3年間の部活動（主にスポーツ系）の集大成と卒業後の高校進学に向けた受験勉強の開始という印象ではないでしょうか。それに対して高校3年生の進む道は広いですね。社会人1年生となる仕事の就職先を検討していく人、職業教育を受ける専門学校の種別や学校を検討する人、大学・短大に行って興味・関心のある学びを深めようとする人というふうに大きく違ってきます。もちろんもっと様々な進む道があると思いますがそこには深入りしないでおきます。

私たちが高校を訪問する目的は第一に、山口調理製菓専門学校（YIC 調理製菓専門学校）※へ入学してもらうための広報活動です。一人でも多くの人に入学してほしいので様々なPRをしていきます。高校生の皆さんにはできるだけ多くの情報を伝えていきたいと思っています。それに対して受ける方の高校生はたくさんのところからたくさんの情報を入手することになるので、冷静な判断が大切になってきます。私が個人的に気をつけていることは「量より質」です。たくさんの情報ではなく知りたいことを聴き、ポイントをできるだけ絞って伝えるようにしたいと思っています。うまく伝わっているかな？

今年度も5月に新入生アンケートというものを行いました。その問いの中に「入学を考えるための行動を始めた時期はいつ頃からですか。」という項目を設定しています。一番多かったのは“1年以上前”というもので30%以上の方が回答していました。これはたいへん素晴らしいことだと思いました。次に多かったのは“6月～7月”と“夏休み中”というものがどちらも20%程度ありました。これは現実的な行動であろうと思います。今ちょうどその時期になっています。高校生たちの将来のために少しでも役に立てたらいいなと思っています。

余談：右上の似顔絵イラストは昔の男子高校生の姿です。すでに坊主頭から長髪にはなっていましたが、制帽がまだありました。今は全く見ないですね。（服の埃を払って取るには便利な道具でした。）

○ 生き物賛歌

ある日、倉庫の扉に枯れて折れた木の枝が引っかかっているのを見つけました。なぜこんなところにひっついていのだらうと不思議に思いながら、取ろうとして近づいてみると足があることを発見しました。多分「蛾」だらうと思いますが、それにしても見事な“擬態”です。スマホをもってきて撮影してみました。擬態についてはいろいろな写真や映像でこれまでもいくつか見ていましたが、その多くは落ち葉や枝などの陰に隠れて見分けがつかないようにたたずんでいるものです。これは周りに隠れるものもなくすぐに発見される様な場所でしたが、私は完全にだまされました。枯枝の中に居たら全く気がつかないと思います。ほおっておいたらいつの間にか居なくなっていました。名前は調べていません。

今回の植物： お休み

※ 来年度から校名が少し変わります。

